

**東急グループ代表 越村 敏昭（東京急行電鉄株式会社取締役会長）
2011年度 東急グループ合同入社式メッセージ【要旨】**

東急グループ

1. 日 時 2011年4月1日（金）11:00～
2. 場 所 Bunkamura オーチャードホール（東京都渋谷区）
3. 内 容 2011年度東急グループ合同入社式での東急グループ代表・越村 敏昭（東京急行電鉄株式会社取締役会長）によるメッセージ（要旨）

東急グループでは毎年、首都圏の会社を中心に合同で入社式を開催しています。

参加会社:東京急行電鉄、東急不動産、東急コミュニティー、東急リパブル、東急建設、世紀東急工業、東急レクリエーション、など32社

参加人数:527人

越村 敏昭は、本日、東急グループ代表(東京急行電鉄株式会社取締役会長)に就任しました。

【東急グループの一員として認識すべきキーワードは「安心と信頼」】

先月11日に、東北地方から関東地方にかけて未曾有の大震災が発生し、亡くなられた方と行方不明の方合わせて2万8千人を超える大惨事となりました。皆様と共に、亡くなられた方のご冥福と、被災地の一日も早い復興を、心よりお祈りしたいと思います。

現在の我が国の経済情勢は、依然として個人消費や雇用環境が好転せず、さらに大震災の影響が懸念され、本格的な回復への道筋が描けない状況にあります。そのような中、人々の生活に必要な不可欠な事業を担う東急グループとしては、社会の期待に応えるよう努力し、この困難な状況の改善に貢献していく所存であります。

さて、皆さんには、東急グループの一員として、認識していただきたいキーワードが2つあります。それは、「安心」と「信頼」です。

今日までの東急グループの成長は、先輩たちが長い年月をかけ、お客さまや社会から「安心」と「信頼」を獲得することにより実現してきたものです。時代と共に、お客様が求められる商品、サービスが変わってはいきますが、東急グループの基盤が「安心」と「信頼」であることは変わりありません。

企業は社会的な存在であり、社員一人ひとりが社会のルールに則って行動しなければなりません。

「安心」と「信頼」を肝に銘じ、「東急」がより一層愛されるブランドとなるよう、しっかりと社会的な責任を果たすようお願いいたします。

現在、我が国では、先進国のどの国も経験したことのないようなスピードで少子高齢化が進行しており、大きな社会構造の変革期を迎えています。こうした時代の変革に迅速かつ的確に対応するためには、皆さんの「若い柔軟な発想」や、「行動力」が大きな力となります。

皆さんは「会社が自分に何をさせてくれるのか」を待つのではなく、「自分は何をすべきか」を常に意識し、それぞれの持ち場で一步一步努力を積み重ねていただきたいと思います。自ら考えて主体的に行動することが皆さんの今後の飛躍につながり、ひいては東急グループの成長にもつながります。

皆さんが、かけがえのない人生を有意義に過ごし、そして大いに成長されることを心より願っています。

以上